

組織目標管理シート

年度	令和7年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標			作成日	R7.5.21
組織名(部)		組織名 (準部・課・機関名)	選挙管理委員会事務局				評価日	R8.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R7目標	R7結果	取組名称(事業名)	概要			
1	適正な選挙事務の執行を確保するため、法令の遵守や制度の正しい理解を徹底し、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。		・R7参議選での内部統制制度の報告件数	0件	0件	・選挙のマニュアル等の充実や事務担当者向けの研修の実施	マニュアルの充実や研修を通じて、制度の周知を図るとともに、ミスの発生原因を共有する。	○	R8.2月の衆院選は特に日程的に厳しい状況であったが、大きなミスもなく無事に執行できた。	今後も選挙の執行はあるため引続き過去のミス事例の再発防止に努めていく。
2	相対的に投票率が低いとされる若年層を中心に、選挙に関心を持ってもらう事業を実施し、投票率の向上に努めます。		・若年層対象啓発事業数	・出前講座等の実施 2件 ・ポスターコンクールの実施	・ポスターコンクール実施	・若年層を対象とした出前講座や模擬選挙などの実施 ・小中高生を対象としたポスターコンクールの実施	・学校のことなどを決めるための手段として投票を実施し、選挙を身近なものに感じてもらう。 ・夏休みの課題としてポスターコンクールへの出品を通じて選挙への関心を高める。	△	出前講座は衆院選の解散によって実施できなかったものの、ポスターコンクールは予定通り実施。	引続き学校での活動やポスターコンクールなどを通して若年層の選挙啓発に取り組み、投票率の向上を図る。
3	任意団体である明るい選挙推進協議会と連携し、地域において選挙に対する啓発活動を実施します。	行財3ー②	・地域などでの啓発活動の開催件数	2件	・新潟まつりや地域のイベント等での啓発活動の実施	・地域の住民が参加するお祭りなどでの啓発活動の実施	老若男女問わず参加する地域のお祭りなどのイベントや商業施設などで啓発活動を行います。	○	地域の祭りなど多くの人の集客が見込まれるイベント等で啓発活動を実施した。	一般の方が多く集まるイベント等に出向き選挙の啓発を行う。
4	大学との連携を行い、若者目線で投票率の向上のための方策について検討・提言をもらい、施策に反映していく。	行財3ー②	・地元大学との連携	議員との意見交換会の実施	議員との意見交換会の実施	・地元大学との連携事業として若年層の投票率向上に向けた取り組みを行う。	投票率が相対的に低い20代前半の投票率の向上のために、学生と議員との会話の場を設けて投票について考え、投票率の向上を図る。	○	新潟青陵大学との連携事業で、市議会議員と交流を行い、学生からは議員を身近に感じられた、議員からは若い人の話を聞けてよかったなどの意見があり好評であった。	引続き若年層が政治に関心を持ってもらうような事業の実施を連携して進めていく。
5	本市では初めてとなる商業施設での期日前投票所を開設し有権者の利便性と投票率の向上を図る。		・R7参議選でのイオン新潟東店(東区)での期日前投票所をトラブルなく実施すること	・実施	R7参院選で実施	・期日前投票体制の整備 ・委託業務の実施	・商業施設での期日前投票を実施するためのネットワーク開設や実施体制の確保 ・イオン新潟東店との連携により多くの人から投票に来てもらう	○	R7.7の参院選の3日間で3,272人が投票し、大きなトラブル等もなかった。同時に実施したアンケートでも選挙人からは好評であった。	投票率の向上に一定程度寄与できたと思う。議会からは、さらなる拡充を求める声があり、継続して実施していく。